



夏の思い出づくりに

いちはら

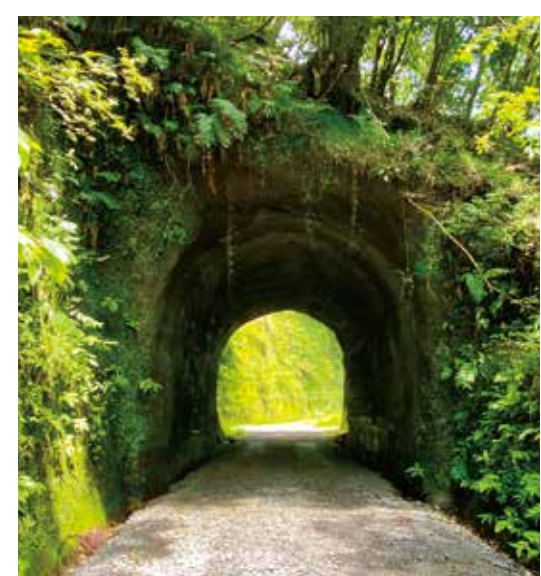
アウトドア

いよいよ夏本番。新しい生活様式が求められる今年の夏は、市内の開放感のある大自然を満喫し、心も体もリフレッシュしませんか。



いちはらクオードの森

失われつつある豊かな自然の原風景と多くの動植物に恵まれた、里山の情景を感じることでできる公園です。指定管理者の安由美会が管理し、約117ヘクタール(東京ドーム約25個分)の面積があります。園内には、散策路や植物園などを整備。四季折々の風景を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごすことができます。散策路には木陰があり夏でも涼しく、さまざまな野鳥や昆虫、植物に出会えます。



手掘りのトンネル

自然観察のベテランが解説

夏に見ることができる生き物の一部を紹介!

田中義和さん

- プロフィール
- 日本自然保護協会 自然観察指導員
- 市原トンボ池の会

市で開催している「親子で楽しむ昆虫教室」や「野鳥観察会」などで講師を務める。

田中さんのおすすめポイント

この公園は房総丘陵に位置し、公園以北の地域では見られない動植物も多いです。また、市民が、四季を通じそれらの自然に身近に接することができるなど、貴重な場所となっています。



田中さんが解説する“夏に見られる生き物たち”



ハグロトンボ

体色が全体的に黒く、雄は緑色の金属光沢がある。夏の川辺で見られる代表的なトンボ。



ショウジョウトンボ

真夏に真っ赤なトンボを見たら大抵このトンボの雄。市内でも広範囲の池に生息。



オニヤンマ

日本のトンボでは最大。羽化したばかりの個体は上空を悠然と飛ぶ。成熟した雄は川の流れて往復し、この時が近くで見る絶好の機会。



オオイトトンボ

雄の体色はきれいな空色のイトトンボ。環境の悪化などにより減少が目立ち、千葉県レッドリスト(2019年改訂版)では最重要保護生物に指定される。水草の多い池を好む。

ハンミョウ

人が通ると飛んですぐに着地し、度々後ろを振り返る。往々にしてこれが繰り返されるため、その様子を道案内に例え「ミチオシエ」という別名がある。

市民特派員作成 お楽しみ動画

生き物の鳴き声や自然の音も楽しめる

いちはら市民特派員の田口さんが取材に同行し、動画を撮影しました。市原市公式YouTube(下QRコードからアクセス可)から、紙面ではお伝えできない生き物の鳴き声や自然の音、田中さんの解説もお楽しみください。



田口特派員のおすすめポイント

駐車場が整備され、これだけ自然が豊かな場所はあまりないですね。気軽にハイキングを楽しめます。



安由美会おすすめ 夏の楽しみ方

澄み切った空気の中でキャンプやBBQを満喫



森林浴でリラックス



キャンプ場

キャンプやバーベキューを快適に利用できるよう設備を整えています。大自然の中で、野鳥のさえずりを聞きながら、心もお腹も満たされてみませんか。 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、利用当日、受付で利用許可申請書、利用者名簿、同意書を提出いただきます。また、受付時に検温を実施しますのでご協力をお願いします。

キャンプ場の利用

利用期間 8月31日(月)までと、9月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)
申込方法 電話か、いちはらクオードの森ウェブサイト(右QRコードからアクセス可)から申し込む。



申込・問合せ先

いちはらクオードの森(柿木台1011) ☎(96)1119

周辺の立ち寄りスポット①

チバニアン

所在地: 田淵1157 (駐車場)

地層を見学した後、サンダルに履き替え、川の流れて足を浸してひんやりと涼むのはいかがでしょうか。川底を観察すれば、約78万年前の貝の化石や生痕化石を見つけることができます。さらに、川や沿道でこの季節だからこそ見ることができる生き物を探してみませんか。



貝化石

サワガニ

夏は、ヒル、ハチ、マムシなどが出る恐れがあります。服装は、帽子・長袖・長ズボン・長靴での見学がおすすめです。

問合せ先 ふるさと文化課 ☎(23)9853

周辺の立ち寄りスポット②

市原ぞうの国

所在地: 山小川1937

日本最多の13頭のぞうをはじめ約80種の動物が暮らす市原ぞうの国。お絵かきなどのぞうたちのショーでは、ゆめ花が夏にちなんでヒマワリの絵を描いてくれます。ふれあい動物園「サユリワールド」には、グランピング施設「THE BAMBOO FOREST」がオープン。「キリンと朝食」といった動物園併設ならではのアクティビティが楽しめます。



問合せ先 市原ぞうの国 ☎(88)3001

ボーイスカウトの隊長が教える

親子で簡単楽しいキャンプ飯

いしがまちぐさ 石垣千草さん

プロフィール
■ボーイスカウト千葉県連盟 市原第5団 ボーイスカウト隊(小6~中3)隊長
■2019年の第24回世界スカウトジャンボリー(アメリカ)に隊長として参加子どもが、小学1年生の時に保護者として初めてボーイスカウトに関わる。その後、子どもと一緒に活動するうちに、アウトドアの楽しみを知り指導者となった。



キャンプの朝食におすすめ カートンドッグ

牛乳パックを燃料にして作るホットドッグ
用意するもの(2人分)
■ホットドッグ用パン2本 ■ソーセージ2本 ■キャベツ ■チーズ(お好みで) ■ケチャップ ■マスタード ■洗って乾かした1ℓの牛乳パックなど2個 ■アルミホイル

- ①パンに具材を挟みアルミホイルで二重にふんわり包む
- ②横に寝かせた牛乳パックに①を入れ、パックの口に火をつける。燃え尽きる前に火が消えたら再度着火する
- ③牛乳パックが燃え尽きたらできあがり ※周りに注意し、他のものに火が移らないように気を付けましょう。 ※③のアルミホイルは熱いので、やけどには十分注意しましょう。

